洛北

源斗集

元禄五

壬申九月廿五日江戸へ
くだり道ゝ為庵年
都合五ゝ堂し
業作ゝ知めてし免ん
御ゝの有りて帰ゝを
とゝ

西堂

霞亭文庫

深川夜遊　芭蕉

書くてもあるものを庚辛る
指くるるに秋の形ラ涼酒堂
苔の月柳の影ラ嵐雪
蛙とかるる水ラ岱水
松山の鶯八蹴鞠の喉ワ重堂
焙煙束帯とくる川　丈艾
祝ひ花淡かるる小夏　粥水

うすま柳もて洗ふ油　手葉
柳をる志のこゝろと折せ　ゝ蕉
墨屏をみて新しの詩歌堂
寒徹す山雀籠の中　迦ゝ葉
西気敬のむ湯のかゝさよゝ
目の俤を矢千太八たて中ゝ堂
ま柳ゝ神ゝ　沈をゝさ　少ゝ蕉
踏ゝ上ゝ蓑笠の雪北鄙月歌ゝ

名

那名比御山清ゝ　ゝ葉
ゝ月のすゝゝ志ゝ　ゝ蕉
為ゝゝゝる一日土の　河へ沈こむ堂
町中の名指八南　きうんゝ葉
吹も志こゝす四ゝ　ゝ新水
草見籠る地ゝ清ゝ　ゝ所の裏堂
俤見あゝゝの　古ゝ屋の　月蕉
むゝ比早苗ゝきは八憶ゝゝ水

和の詠ずるを海殿ふたち其歌葉
山伏と切り〳〵切けるを第の歌
遣もなれハなるを在の中堂
付合ハ皆上手なり香あうし葉
ちがうしと豪傑なり手
京都て和者ハ孔子あるを海堂
たてこ免〳〵あ歌 在の大日歌
ウ
樓(ジガ)柳〳〵の田中等人の字手

建仁寺より鎌さしけ西〳〵葉
石ゐ〳〵池鯉舟の前の石鉢市歌
ごゐ松ゐくこも土間の八つ白堂
第六番人のくれて前足生葉
鉢ゐ北ほうゐ手石鉢柳水

仲秋の留主

海辺なる陸奥十歌の坊の月　松風

志のひ浦一本のこれる　檜洒堂

馬角の都皆雪月　曽良

鶴ちいさき鶴たてこ　石菊

人参畑出て見れば　桃隣

元禄さうれ松ちる　宋波

中秋の月名物　旅訓　子葉

こうまいたくる　鈴　一　四風

蓮の葉八ちいさき葉の　杜若堂

地を拾ふ　うり畑　振袖良

六人天竺物をいふ　子菊

ちかおきなとの老婆こし　蹄

月もく八月の名殺を　仕也波

前国の時宜あるれ秋の歌堂

もの吸形おもしろ　海風

[illegible]命[illegible]菊
[illegible]の[illegible]小田原の[illegible]前の年[illegible]
[illegible]川[illegible]波
[illegible]国の[illegible]小[illegible]ぬ[illegible]の[illegible]良
[illegible]の[illegible]の[illegible]風
[illegible]八[illegible]
[illegible]良
[illegible]良
[illegible]合菊

[illegible]へ[illegible] 吉田国 [illegible]濤
[illegible]流[illegible]波
[illegible]
[illegible]
[illegible]風
[illegible]菊
[illegible]擇[illegible]良
[illegible]の[illegible]や[illegible]波
[illegible]の[illegible]濤

[illegible]と詠ずる　傘風

[illegible]男[illegible]と[illegible]と[illegible]と[illegible]と[illegible]　豊

駿河の田植[illegible]　悔いて[illegible]良

長持[illegible]注連[illegible]免[illegible]花の旅[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]波

一

[illegible]し家[illegible]の[illegible]

[illegible]第一[illegible]

[illegible]仕合[illegible]し

[illegible]と[illegible]の[illegible]　[illegible]　酒豊

綿舘（ワタダテ）[illegible]　[illegible]の　里　評六

[illegible]の[illegible]を[illegible]集[illegible]芭蕉

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]の[illegible]水[illegible]の[illegible]小[illegible]　[illegible]　六

[illegible]のとうに典[illegible]の　[illegible]堂
相國寺[illegible]母の[illegible]さう[illegible]　[illegible]
[illegible]の[illegible]　[illegible]
西京の[illegible]　[illegible]堂
むし[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]六
きめ[illegible]八[illegible]の[illegible]と[illegible]
東追手の[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]の[illegible]　[illegible]六

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]堂
[illegible]の[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]
村八[illegible]の[illegible]　[illegible]
[illegible]の[illegible]　[illegible]六
[illegible]僧の[illegible]　[illegible]　[illegible]堂
今[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]六

又[illegible]四國ゆし[illegible]堂
[illegible]の花葉
[illegible]の都葉
[illegible]の[illegible]堂
自[illegible]と[illegible]六
[illegible]葉
先[illegible]の物[illegible]葉
[illegible]六

[illegible]堂
[illegible]葉
[illegible]葉
[illegible]の内堂
[illegible]六
[illegible]葉
[illegible]の上ミ葉

支梁亭口號

夕顔や棚の下涼す蚊帳哉　芭蕉

笠ぬぎて山茶の花見る茶もなし　嵐蘭

秋の野の松の根しめ　所利合

旅人の呼る月の門戸哉　洒堂

夫子をあけよ出る深川　如水

雛のたのもしや杖を引たるしめ　桐葉

あつき橋を渡る涼しや也行

弱さす六月の柳柳桜　梁

抽菜ぬきん〳〵歩大豆の汁　意

畑の雨まち顔の蝶の羽合

蹴かなくに空地の椒　堂

けしと蹴ぬしらぬ水

酒〳〵と食の物やもたれ　月菜

汐干北もつの国を秋立　堂

霧の折 雲生 一物の結(ナビ)梁
西日入る 雲を 序の間 雷 家作
苣 北 二番の 雲 ちのめく 美
三番 八去年 北川師 ふれて 合
見る 海 て 萩 迦 豊 の くも 豊
咲 初 て 雲 た ちて 稔す 了 蕉
雲 北 ちこう 枇杷 の ふれ いろ 葉
凡(ホンニ)早 して 須(トナ)す ちの 雲 旅 の 名 美

清 ける 注連 と ちる 社 家 町 作
日 盛 る 貂(オラ) 貴 雲 を 美 て 移 豊
こ ら し の 房 北 刀 川 口 梁
ち つ き の 稲 の し ふ る 房 豊 し 合
ち て 貴 こ る 門 分 の 坂 葉
皮 剥 の 物 貴 て 咲 て 二 番 の 月 蕉
上 色 咲 て こ ち ち 物 の 響 美
雲 作 て 流 し て け て 作 作 作

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九月廿九日の夕方より箱根に行き
泊て翌年の未霞竹亭と
酒しく卒業十句を吟ず
無のうちん寺詣たりて
浴の四友とともよりしの
ちとつく

荷の葉の中を田の上の秋の雲　酒堂

芋ほる日や掘かねる　丁雲

衣川麓ハ一名の高うして芝蕉
畫草けむり道の雲雨北觀
古跡物自然稚子泥ヲ踏蒙
たゝこ足遠ク物言の笠堂
さし出の門乃柱と折ふせる仏
寂寥ト門ヲ閉ル障子
老僧ハ肩休ス丁觀
ス仙坊ハ房州の佛手菓

帰つるの答まハし出る雪の上 猪苗代 昌房
嬬ふるゝ鄰の梅 清正秀
小仙ヲ問ハしこゝ初めし即高
鶯も哀なと自然の 底拾志
恢こゝ寸洞の中 こゝ求 滑刀
ゝゝ鶯く三方の厨 野徑
花の陰射手沢 濶 陽く ら 京 去来
蹠ゝ雪のあるる 書 雨仝

嘆る事ハ楓の事ハ師童
池の小淵ハ苔の事ハ言仝
燒物ハ皆茶屋の釜の月史邦
月ハ実のいる賤ハ破れ戸仝
老僧の帰ハ法華の鐘景桃
古鼓ハ源氏の流れ迄の宮仝
六月ハ弥の二条の事則ハ奉
たゝこ鼓ハ小庵佛ハ文仝

擇とり北陸ハさけうる擇の絵（子大坂之道）
時雨ハ二条河原の冬の日仝
枝似ハ杉ハ浮ものとさしうけて車庸
二形並ハ茶の あてハ しを仝
ゆ〻しハ加賀の菊ゆ〻しハ擇志（ぜ）
女夫ハ赤ハ赤彦の 禪源力
源入道ハ山ハ高ひきハ谷の花 正秀
古年ハ芦の芽ハ 布 去 即高

写義のすゝき部とは去年の三月御供
うすむら部の巻とる　犬昌房

松の中

為の写やむ世の美蓉う郎　曲翠

初日ちの自比　椿つゝ〳〵酒壺

新貫ゑ先二要毛〳〵活生集て仝

赤毛すゝちる子土の俺云翠

時初る節句の朝の天京和仝

鋪ふこの船を　あくる深月壺

法世ちとゆこゝろ比下御変空

仰天の意を[illegible]る　きく器
後の利をもんて百ひてきく金
世ともをこうてもとあるう秋豊
まちんる甲の荒住る時間ゑ金
嵐の完を[illegible]さく　二ン　自器
花鳥と四季の[illegible]じよ〳〵　空金
空を夜をはるれひ風呂　変豊
俗ゑ命甲斐れる者のい事師金

たゝゝる生〳〵て希安　雑沢器
嫌毒をゝけ〳〵自を斗祈〆金
悪七を悟りけ　きよう　秋豊
世の弟を手弟いする幸富て金
さ面〳〵ゝゝ自家の　秋器
通ての一の事をちゝ沢和白金
筑ゝ切し　大根の　伺　貴豊
遊ゝ沢ゝ大ゝ事の上ゝ藤〳〵金

山茶屋の句碑　行器
菊ヶ谷より芳流閣と書る仝
高もがり　塔下の　目豊
すと書ぬ　ちゝ薬師押合て仝
こゝろてん嗜こゝ　三丈器
笠縫の里とみる牛の　皮仝
行と行行　行る　鳴豊
行者の死とゝる四つの　鐘仝

布〳〵ヲ　ぬ絵の下　帯器
遠面の面とあ　ゝ　ロ打　き仝
門ゝ　ゝ　たゝ　の　元豊
毒の毛蔓（イラカ）尺〳〵　増上寺仝
塔〳〵　ゝ　の　鳴り器

忘年書懐　素堂亭

節季候

節季候と雀の口まね　芭蕉

餅搗

餅つきの手あらうまる影の御屋　嵐蘭

衣配

文箱の先祖伝来の衣くばり　曽良

仏名

仏名の手餅ぬれる落けりり　洒堂

歳暮

暮の春古人さけん年のくれ　素堂

餘興

空しきを盃とする桃の酒書　洒堂

暮るのもてる路遠のこうし　素堂

京の月さしこみ来る花ゝ　芭蕉